

伊賀市女性活躍推進事業【伊賀市】

地域の実情と課題

令和元年度に実施した市民意識調査によると、「男は仕事、女は家庭・育児・介護」という意識が根強く残っていることがわかる。市ではこれまで、講演会や就職支援セミナー等を行い、女性の社会進出や政策決定の場への女性登用の重要性について啓発、また「みんなを活かす男性リーダー養成連続講座」を開催し、頑張ろうとする女性の背中を押して、応援できる男性リーダーを養成した。今後、男女が共に働きやすい職場環境の整備やワーク・ライフ・バランスを推進し、市内における女性の活躍を実現する必要がある。

事業の特徴

性別に関わらず、希望に応じて十分に能力を発揮し活躍できるよう、育児や介護等に対する職場環境の整備の推進、人事配置や昇進等における男女平等について、経営者や管理職、人事担当者に対し、意識改革を行う。また、男性のみならず女性自身の意識改革も行う。

事業の効果

男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが」では、性別にかかわらず能力を発揮して活躍できるよう、性別による固定的役割分担意識の改善を目指し意識改革を行った。「イクボス講座」では、経営者や管理職、人事担当者への意識啓発を行うことで、職場における女性活躍の推進に繋げることができた。女性防災リーダー養成連続講座「防災こころ笑カレッジ」では、地域での女性活躍を推進するため、生活に密着した防災をテーマに女性活躍の必要性を啓発できた。また、この事業で誕生した11人の修了生を地元の住民自治協議会へ報告することで、今後の地域での女性活躍の場を生むことにも繋げることができた。

目的・目標

「男は仕事、女は家庭・育児・介護」という性別による固定的役割分担意識が根強く残っている。女性の活躍を促すフォーラムや、イクボス講座を行うことで、企業や事業所の意識改革を図り、「働き続けたい」と考える女性が、働きやすい職場づくりにつなげ、女性活躍の推進を図る。

●「男は仕事、女は家庭・育児・介護」と思わない市民の割合（男女共同参画フォーラム参加者）：（目標）65%⇒（実績）75%

連携団体

- ・伊賀市男女共同参画ネットワーク会議
- ・伊賀市人権学習企業等連絡会
- ・伊賀市商工会
- ・上野商工会議所
- ・伊賀市住民自治協議会

今後の課題

男女共同参画フォーラムについては、関係団体である伊賀市男女共同参画ネットワーク会議からの参加は多いが、広く一般に認知されておらず関係団体以外からの参加者が少ない。また、年齢層も50歳以上の参加者が87%と若者の参加が少ない。

イクボス講座についても、伊賀市人権学習企業等連絡会を通して周知をしており、連絡会会員以外の企業の参加が少ない。女性防災リーダー養成連続講座も、修了生数が目標を達成できなかった。

幅広い層の参加を目指し、広報の方法を見直し力を入れていく必要がある。また、コロナ禍により参加しづらい状況もあるため、オンラインの活用等も考え取り入れていきたい。

事業の概要

男女共同参画フォーラム開催事業

伊賀市男女共同参画ネットワーク会議と共催して、フォーラムを開催する。開催の主旨に賛同いただいた市内企業に協賛を依頼し、市内における女性活躍推進の意識改革を図る。また、学生にも参加してもらい、市内に女性活躍を推進している企業があることを周知する。

●日時 令和3年7月31日(土)13:30～15:45

●内容 オープニング

- ・伊賀市男女共同参画ネットワーク会議 会員紹介
- ・高校生からのビデオメッセージ

講演会「能の道を生きぬく～私が挑む道～」

講師:宝生流能楽師 松田 若子 さん

チェリスト 植草 ひろみ さん



イクボス推進事業

市内企業や事業所等の管理職や人事担当者を対象に、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革、イクボスの育成をメインとした講習会を開催する。

●日時 令和3年11月24日(水)14:00～16:00

●内容 講演会「働き方改革とイクボス」

講師:同志社大学政策学部教授 川口 章 さん



女性防災リーダー養成連続講座開催事業

男女共同参画の基礎知識やその必要性、防災・減災に関する活動していくうえで意識していきたいことや、なぜ地域防災に女性の視点が必要か等について学ぶ連続講座を開催し、地域への女性活躍の場を広げる。

●日時・内容

- ①令和3年8月6日(金)19:00～21:00 「過去の大規模災害事例から学ぼう」
- ②令和3年10月15日(金)19:00～21:00 「男女共同参画の視点で防災・減を考える」
- ③令和3年12月3日(金)19:00～20:30 「グループワーク(避難所運営について考える)」
- ④令和4年3月18日(金)19:00～21:00 「HUG(避難所運営ゲーム)にチャレンジ」

